



お揃いのキティちゃんマスク

**マスク77枚
いただきました**

当別町母子寡婦会 安達 史子

店頭からマスクや除菌剤が消え、感染の不安が募る4月下旬、当別町社会福祉協議会へ、地元ボランティアの「大正琴ポピーの会」からマスクの寄贈がありました。LMSの3サイズがあり、子ども用が10枚以上あったことから、母子会でいただくことになりました。

密を防ぎ、作業は1時間以内とのルールを守り、事務局と二人だけでお母さんと子ども達の顔を浮かべながら配布準備をしました。

子ども達も参加の定期総会中止、日帰りバス旅行の開催目途もたたない重苦しい空気の中、心のこもったプレゼントに会員一同感謝でいっぱいでした。



1枚ずつ個別に袋詰めされた心のこもったマスク77枚



会員宅へ持参・配送準備完了

働くママには応援を込めて2枚お届け

新型コロナウイルス 単位会・会員

アイヌ文様マスク 販売しています

登別市母子寡婦の会 鈴木 明子

母子家庭の自立を目的に、登別市役所に売店を開いて以来46年が経過しました。売上が減少傾向の中コロナ禍が追い打ちかけ、頼みの使い捨てマスク販売も入荷の見込みが立たなくなり開店休業状態になりました。

日頃から親身に母子会のことを心配して下さる女性市議の方から、「アイヌの伝統文化の刺繍を入れた手作りマスクを販売してはどうか」と提案されました。数日後、「アシリの会」の代表の方がマスク10枚を届けて下さり、伝統文様の意味を教えてくださいました。



売店の前面に置かれたマスク

にしました。

地元新聞にアイヌ刺繍マスクの話題性に注目した記事が掲載され、購入した方の口コミでも広がり、アシリの会や市役所への問い合わせが相次ぎました。その後、報道各社の取材を受けた放送や、また菅官房長官が記者会見でつけた「魔よけのマスク」が評判となり、全国からの注文が増えています。

母子会では来店して下さる方への販売として、一人一枚と限定し、1100円(税込)で販売しています。土日にも入る注文や予約は市役所の宿直の方にもご協力いただき、後日アシリの会に報告しています。

「魔よけのマスク」に助けられ、母子会は売店継続を頑張っていることと話し合っています。



評判のアイヌ文様マスク
1枚1100円(税込)